

第2学年 国語科学習指導案

学級 2年3組 (男子17名 女子18名)

授業者 教諭 助川恵美

単元名 いにしへの心を訪ねる 仁和寺にある法師—「徒然草」から
昔の人のものの見方や考え方に触れ、古典に親しむ

単元について

(1) 教材観

「徒然草」は非常に読みやすくわかりやすい内容であり、古典の随筆に親しむにふさわしいものといえる。教科書で扱う序段では、兼好法師が文章を書く際の心境がつつられている。

また、52段では、真面目すぎる法師の常識のなさからくる勘違いが、とてもユニークに描かれている。その勘違いの内容や法師の取った行動は、現代に生きる私たちと少しも変わるところがなく、現代でも十分にあり得ることであろう。これらの点から生徒たちも内容に引かれ、古典の世界に抵抗なく入り込める優れた教材である。

(2) 生徒観

簡単な発問には積極的に答えようとするが、自分の考え等を問われると、発言に消極的になる生徒が多い。グループ学習では自分の意見を伝え合い、お互いの考えを深め合うなど、どのグループも協力して学習に取り組んでいる。

古典の作品の中でも随筆については、1学期に「枕草子」学習した。その際、「枕草子」全段の暗唱テストに取り組み、8割以上の生徒が合格している。小学校での学習経験もあるので、古典に対する抵抗はあまりない。さらに、作者のものの見方、考え方の視点や、表現方法を習得したうえで、「わたしの枕草子」を作成している。

(3) 指導観

「徒然草」は日本の随筆文学の中で傑作とされ、「枕草子」「方丈記」とともに中世の三大随筆と呼ばれる。作者の兼好法師（吉田兼好）は、随筆作家としてだけでなく、歌人としても優れており、趣味豊かな教養人でとしても名高かったが、のちに出家し、自由な世捨て人として生活した。しかし、兼好法師の「徒然草」に収められている話の内容はとても庶民的なものが多く、教訓めいた話や伝え聞いたうわさ話など、世間一般で沙汰されるような内容がほとんどである。笑い話や身近な話題が多いために、中学生であっても読みやすく、親しみやすい内容が多い。学習するにあたっては、序段部分の暗誦を含めて、音読・朗読を重視し、簡潔な文章で表現された説話的な面白さに興味を持たせたい。そのうえで、現在の私たちにも通じる兼好法師のメッセージを自分の経験に引き寄せて古典に親しむ態度を養いたい。

単元の目標

(1) 古典に示された内容やものの見方について関心をもち、感想を交流しようとする。

【関心・意欲・態度】

(2) 文章に表れている作者のものの見方や考え方を理解し、知識や経験と関連付けて自分の考えをまとめることができる。

【読むこと】

(3) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、現代との共通点や相違点に気づくことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特性に関する事項】

4 本單元における言語活動

古典の随筆を読み、内容について自分の考えを述べる。

5 指導計画（全4時間）

時	主たる学習活動	指導（○）と評価（●）
1	○学習のねらいや進め方をつかむ ・「徒然草」とはどのような作品かを序段の部分からつかむ。	○序段と「仁和寺にある法師」を繰り返し音読し、序段の暗唱練習をする。 ・序段の暗唱テストを行うことを予告する。 ●積極的に暗唱に取り組み、正確さ、速さ、リズムなど観点を明確にして朗読しようとしている。 【関心・意欲・態度】
2	○「仁和寺にある法師」から筆者のものの見方や考え方をつかむ。	○なぜ「法師」は失敗してしまったのか考えさせることで、筆者からのメッセージを考えさせる。 ●筆者が伝えたかったことは何かを理解する。 【読む】（ワークシート）
3 本 時	○「徒然草」の各段（神無月のころ・高名の木登り・ある人、弓射ることを習ふに）から筆者のものの見方や考え方を想像する。	○現代語訳を読んで感じたことをまとめさせる。 ●筆者が伝えたかったことは何かを理解する。 【読む】（ワークシート）
4	○「徒然草」の文章と自分の体験を関連付けて、筆者に対する自分の考えをまとめる。	○仲間の発表をもとに自分の感想を書く。 ●筆者や作品について自分なりの考えをまとめることができる。 【読む】（ワークシート）

6 本時の目標と評価規準

(1) 本時の目標

・「徒然草」の各段を読み作者のものの見方や考え方について理解を深め、自分の考えを持つことができる。

【読む エ】【伝国 アー(イ)】

(2) 評価規準B

・「徒然草」の構成を参考に、自分で選択した段で筆者が伝えたかったことは何か、を理解している。

【読む エ】

・「徒然草」に表れた兼好のものの考え方に対して、自分なりの考えを持ち、感想を書くことができる。

【関心・意欲・態度】【伝国 アー(イ)】

7 本時における研究の重点について

(1) 課題設定の工夫

徒然草の中でも、ユニークな内容の本文と、筆者からのメッセージが読み取りやすい段（109段）、筆者のものの見方の特徴がよく表れている段（11段）を取り上げ、自ら取り組む段を選択させることで、意欲的に課題に取り組ませたい。

(2) 関わり合いの工夫

正確に暗唱できるようにするために、ペアで確認しながら暗唱させる。また、小グループで各自の考えを交流し合うことで十分な時間を確保し、密度の濃い話し合いができるものと考えた。

(3) まとめの工夫

仲間の考えを交流し合うことで新しいものの見方や感じ方を発見させたい。

段階	学 習 活 動	指導上の留意点
導入 8分	0. ペアで暗唱を行う。「徒然草」冒頭部分 1. 前時の学習を振り返る。 ○「仁和寺にある法師」で筆者が伝えたかったことは何か。 ・どんなことでもその道の先導者はあってほしいものだ。 ・先輩や指導者から教えてもらうことは大切なことである。 ・自分勝手な判断はいけない。 2. 学習課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">兼好法師が伝えようとしたメッセージはどのようなことだろう。</div> ○他の段にはどんなことが書いてあるだろうか。	・「仁和寺にある法師」における筆者の考えを確認することで、その他の段における筆者の考えを読み取ることにつなげる。 ・文章のどこに書かれているか。
展開 35分	3. 課題について考える。(個) ・各段の範読(現代語訳)を聞く。 ・各自で再度精読し、自分が取り組みたい段を選択する。 ・選択した段の内容を簡潔にまとめ、兼好法師の伝えたいこと、それについての感想を自分の経験を踏まえて自分の言葉で書く。 4. 考えを交流する。(小グループ) 3. で考えた内容を順番に発表する。 ・仲間の発表内容を自分のワークシートにメモする。	・各段のワークシートを準備し、簡潔に内容がまとめられるようにする。 <div style="text-align: right;">【読む】(ワークシート)</div> ・発表のモデルを提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ・わたしが選んだのは第○段の～という文です。この文章で兼好法師が伝えたいことは、「……」ということだと思います。 </div> <div style="margin-top: 10px;">【関心・意欲・態度】</div> <div style="margin-top: 10px;">【伝国 アー(イ)】(ワークシート)</div>
終末 7分	5. 本時のまとめをする。(個) ・仲間の発表から、筆者の考え方や人物像について想像し、自分の言葉でまとめる。 6. 次時の予告を聞く	・仲間の発表から、改めて気づいたこと、感じたことなどを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ・兼好法師は～な人だと思う。理由は「……」だからだ。しかし、○○さんの発表を聞いて～な人だということも感じた。 </div> ・本時の感想をもとに兼好法師の考え方を分析し、徒然草や兼好法師の考え方について学級で交流することを伝える。